

6月から毎月第3木曜日 14:00~

歴史講座

番外編

平安時代 摩訶不思議な世界



古の闇を照らした陰陽師

知ればしるほど平安時代が面白くなる

「ユースケサンタマリアが大河ドラマで演じていますが、平安時代を知る上でも大変重要な存在の陰陽師。

陰陽師が活躍した平安京。大内裏の中に住まいを持ち、天皇の近くで働いていました。中国から伝わった占いや天文学など様々な知識や技術をもとに「陰陽道」が生まれました。律令国家の中で「陰陽寮」という役所が作られ、そこで働く術者集団が「陰陽師」と呼ばれたのです。

朝廷に使えるいわば国家公務員でした。陰陽師寮から天皇の住まいまではわずか数十町。何をしていたかという点、渾天図(星図)をみて夜空を見上げていました。簡単に言えば、天体観測をするのが陰陽師の重要な仕事の1つでした。

様々な事象が科学的に解明されていなかった時代、天候不良や病といった人々の生活を危ぶむものは、不吉なものや悪魔とされてきました。そのような中で、膨大な資料や過去の出来事などをとくに予測を立てたり、病気や原因のわからないことに対して祈祷や呪術を用いて不安を和らげたり、中国の知識や天文学を基に暦を作ったりと、より良

い暮らしをサポートすることが陰陽師の主な役割だったのです。

私たちがよく耳にする安倍晴明や、晴明と比肩される賀茂保憲は、11世紀になって登場した陰陽師です。安倍・賀茂両氏は、中世まで陰陽道を支配した大きな勢力でした。

陰陽師たちは8世紀末より貴族と密接な関係を築くようになり、その後武家社会に移行すると、今度は武士とのつながりを強めていきます。

時代が下るにつれて陰陽師の需要と共に多様化が進み、それらはやがて民俗や宗教とも結びついていきました。

安倍晴明にスポットが当たることが多いため、陰陽師という平安期を連想しがちですが、実際に陰陽師が最も活動的だったのは江戸時代でした。しかし明治に入ると突然陰陽師は姿を消すことになりました。その大きな要因が、明治3年間10月に発布された「天社神道廃止令」です。これは陰陽寮の廃止を目的としたもので、土御門配下の多くの陰陽師たちはその身分と権利を剥奪され、表舞台から姿を消すことになりました。今から約150年前のことです。

ら、それほど昔ではありませ

その安倍晴明には不思議な伝説があります。当時、阿倍野に安倍保名(あべのやすな)という男が住んでいました。

あるとき、和泉の信田明神にお参りをすませて帰ろうとした保名の元へ、狩りで追われた白狐が逃げてきて、これをかくまっあげました。その後、白狐は女の人になって、保名のところへ来ます。名前は葛乃葉と名乗りました。ふたりは結婚して阿部神社の近くに住み、やがて子供が生まれ、安倍童子(あべのどうじ・晴明の幼名)と名付けました。

狐は古来から、霊力を持った動物として崇められており、白狐であった母親を持つ晴明は、天才陰陽師として君臨することになるのです。

6月から始まる平家物語 陰陽師の協力を得て、時間軸空間軸が絡む六条公民館から平安時代・鎌倉時代へタイムスリップしませんか! 事前申し込みもありません。当日時間までに直接お越し下さい。席には限りがありますので、お早めにお越し下さい。時間になり次第、異世界へとお出発いたします。 公民館長